

西条の巨樹

「西条の巨樹」 発刊にあたって

平成 16 年 11 月に合併した、新しい西条市における「西条市環境基本計画」の策定当初から 2 年間をかけて参加してきた西条市環境サポーターの私たちが、次に取り組んだものの一つが、新西条市の巨樹の調査でした。これは、「西条市環境基本計画」に示されているリーディングプロジェクトの中の一つの取り組みとして推進してきたものです。

巨樹調査とは、文字通り巨樹のある場所や樹種・大きさ等を文献調査及び現地踏査をして調べることです。

古い大木（巨樹）は多くが神社や寺院の庭にあるはずなので、調査は比較的簡単に進むであろうと考えていましたが、いざ取り組んでみると予想外にいろいろな苦労を余儀なくされました。主に夏季に現地踏査を進めたことによる苦労や、資料によっては、はっきりと記載されているにもかかわらずその跡形もなかったり、あるいは、木の切り株だけがかろうじて残っているだけだったり、実にさまざまでした。

もともと人手を加えることによって維持されてきた里山や人工林が、今は手入れが出来ないで荒廃が目立ってきています。こうした状況から、市内に点在する巨樹たちも人々から忘れられて、ひっそりと生き残っているといっても過言ではないでしょう。

自然と人々の関わりが少なくなってきた今日、これらの巨樹がかつてどんな存在であったかを伝える人もだんだんいなくなり、やがてその地域からさえも忘れ去られてしまうのかもしれない。

数百年を生き、私たちの先祖の生活をずっと見守ってきた巨樹、歴史の波と風雪に耐えてじっと生き抜いてきた、これらの古木たちに対面した時、私たちは最高の敬意を示してきました。

このような巨樹を大切に見守り、後世に伝えていくことに少しでも貢献できることが、今の私たちの切なる願いなのです。この冊子によって一人でも多くの方々がふるさとの自然や歴史への関心をさらに高め、新たに自分たちの地域のすばらしさを見直すきっかけになれば、私たち環境サポーターの望外の幸せでもあります。

こうした想いで、ここに「西条の巨樹」を上梓いたします。

最後になりましたが、この成果は、地域の方々や関係各所の熱心な協力があり「愛媛県森林環境保全基金公募事業」を活用して、ようやく完成をみたものであります。

関係者の皆さんに、この紙面を借りて厚くお礼を申し上げ、感謝いたします。

2009 年 11 月
西条市環境サポーター会長 伊藤 英昭

西条の巨樹 －目次－

- 1 巨樹とは 4
- 2 西条巨樹マップ (綴じ込み)
- 3 西条の巨樹 37 選 5～41
- 4 西条の巨木林 42

資料

- (1) 西条の巨樹一覧 43
- (2) 調査の様子 50
- (3) 参考文献 52



上市のバス停「むくの木」

かつては目印となった巨樹だったのだろう…

2007 年 8 月 22 日撮影

1 巨樹とは

1988年に当時の環境庁が巨樹・巨木林調査を行うにあたり、「地上から 130 cmの位置で幹周（幹の円周）が 300 cm以上の樹木を対象とする」と定め、現在ではこれが巨樹の一般的な定義となっています。

しかし、樹種によっては樹齢を重ねても幹周りが 300 cm 以上には育たない、あるいは育ちにくいものがあります。樹種によっては、300 cm未満でも巨樹と呼ぶことができます。



○幹周 100 cm以上を巨樹の仲間とするもの

クスノキ科	ニッケイ・ヤブニッケイ・イヌガシ
ヤマグルマ科	ヤマグルマ
フサザクラ科	フサザクラ
マンサク科	マンサク・マルバマンサク
マメ科	ネムノキ・ハナズオウ
ミカン科	すべて
モチノキ科	イヌツゲ
ツゲ科	ツゲ
ツツジ科	アセビ・ネジキのように直立幹をもつもの

○幹周 200 cm以上を巨樹の仲間とするもの

マツ科	カラマツ・ゴヨウマツ
ヒノキ科	コノテガシワ・ヒムロ・ネズミサシ
ヤナギ科	オオバヤナギ・ケショウヤナギ
カバノキ科	シラカバ
ブナ科	ウバメガシ
モクレン科	シキミ
ツバキ科	すべて
バラ科	エドヒガン系のサクラを除くサクラ属のすべて
トウダイグサ科	ユズリハ・シラキ・ナンキンハゼ・アブラギリ
ニガキ科	ニガキ・ニワウルシ
ウルシ科	ウルシ・ハゼノキ
モチノキ科	タマミズキ・アオハダ
ニシキギ科	マユミ・ヒゼンマユミ・マサキ
クロウメモドキ科	ナツメ・ケケンボナシ
シナノキ科	ヘラノキ・ボダイジュ
ミゾハギ科	サルスベリ
ミズキ科	ミズキ・クマノミズキ
カキノキ科	すべて
エゴノキ科	すべて
ハイノキ科	ハイノキ・タンナサワフタギ・ミミズバイ
モクセイ科	アオダモ・ヒトツバタゴ
スイカズラ科	サンゴジュ

3 西条の巨樹 37 選

西条市には、2009 年 9 月現在で 273 本の巨樹を確認しています。
 その中から、特に大きいものを中心に 30 本の巨樹と、番外編として巨樹としては珍しい種類など 7 本を紹介していきます。単純に大きい順に 30 本ではありませんので、ご注意ください。

- ※ 番号は参考資料のページにある通し番号を使用しています。
- ※ 所在地は大字までの住所を記載しています。
- ※ 幹周については、測定の誤差も勘案し、一の位を四捨五入した値を記載しています。参考資料の一覧表では実際の測定値を記載しています。
- ※ 調査員の感想として、実際に調査に行き、巨樹に出会った人の主観が詰まった感想を記載しています。

巨樹 30 選

番号	地区（場所詳細）	種名	幹周り (cm)
202	北田野 土居	クスノキ	1300
52	坂元（天満神社）	クスノキ	990
141	壬生川（森岡神社）	クスノキ	790
163	三芳（さやの神社）	クスノキ	760
212	田滝（黒滝神社本社）	ウラジロガシ	740
138	壬生川（鷺の森神社）	クスノキ	690
188	黒谷（大元神社）	スギ	680
187	河之内	アラカシ	670
126	玉之江	エノキ	650
169	実報寺（周越農道沿い）	センダン	640
231	白坂（柳曾）	カゴノキ	630
261	南川（香園寺）	アラカシ	620
178	宮之内（宮内神社）	クスノキ	620
235	鞍瀬（磐根神社）	スギ	610
168	河原津（宇佐八幡神社）	ヤマモモ	610
55	氷見 西町（林昌寺）	クスノキ	600
245	明河（大野霊神社）	スギ	600
30	保野（山の神さん）	スギ	590
41	中野（伊曾乃神社）	クスノキ	590
42	中野 木挽原	ムクノキ	570

番号	地区（場所詳細）	種名	幹周り (cm)
203	田野上方（綾延神社）	イチョウ	560
99	西之川 下谷（京屋旅館）	ケヤキ	550
232	鞍瀬（磐根神社）	イチョウ	550
146	円海寺（保内神社）	クスノキ	550
254	新屋敷（一之宮神社）	クスノキ	530
53	氷見 古町	イチョウ	520
267	石鎚（諏訪神社）	スギ	520
113	周布（周敷神社）	クスノキ	510
225	志川	クスノキ	500
50	西田（西田集会所前）	ムクノキ	490

番外編（ちょっと珍しい巨樹たち）

番号	地区（場所詳細）	種名	幹周り (cm)
112	笹ヶ峰	ブナ	460
204	田野上方（綾延神社）	ホルトノキ	410
81	藤之石	ミズメザクラ	400
18	明屋敷（三本松）	マツ	330
43	中野 木挽原	カエデ	330
91	大保木（旧大保木小学校）	ソメイヨシノ	330
34	中野 市倉	カキノキ	300



▲クスノキの葉と実



土居の大グス

所在地 | 丹原町北田野

樹 種 | クスノキ

幹 周 り | 1,300cm

調査日 | 2006年11月4日



故事来歴・豆情報

推定樹齢は1,000年以上。貞永元年（1232）害虫退散祈願の靈験により烏瑟沙摩明王を勧請し、この地にした臼宮。その当時にはすでに相当の大木であったと思われる。大正11年に当時の田野村北田野部落協議員会で永遠保存の申合せがあり、永久に伐採しないことが決議されている。昭和57年旧丹原町の天然記念物に指定。

調査員の感想

普段よく通る道からこんもりと見える樹冠。調べてみれば、西条市で最も大きな木で、愛媛県でも3番目に大きな木らしい。クスノキの周りはきれいに清掃されていて、ブランコには子ども達が遊びに来ていた。地域の人で大切に守っていかうという気持ちが伝わり、地域の人達に愛されている、とても幸せな木だと思った。 調査員：永井



天満神社のクス

所在地 | 坂元

樹 種 | クスノキ

幹周り | 990cm

調査日 | 2006年11月13日



故事来歴・豆情報

クスノキは社殿の左側にあり、神木として崇められている。昭和31年愛媛県の天然記念物に指定。
その整った樹姿の美しさは県下一と称えられている。

調査員の感想

かつてこの天満宮では芝居も行われ、地域の中心地だったそうです。今は境内で子どもが遊び、年2回の祭りと毎月の清掃が坂元・北山の人々によって続けられています。大きなクスノキは社殿も人も包み込んでいるようです。

調査員（佐伯）

7 ページへ続く



森岡神社のクスノキ

所在地 | 壬生川

樹 種 | クスノキ

幹周り | 790cm

調査日 | 2007年10月29日

故事来歴・豆情報

クスノキの葉には、葉脈の脇に2つダニ室と呼ばれる奇妙な構造があり、そこにフシダニの種類がすんでいる。クスノキの葉のダニ室はクスノキに病変を引き起こすフシダニの天敵の維持に役立っていると考えられている。



調査員の感想

昔はおそらく小さな道と、田んぼであっただろう周辺の地が、今は国道として拡幅され、神域の静けさはない。そんな喧騒の中に、木の鳥居と小さな社が鎮座するすぐそばに、ずいぶんと苦勞を強いられたかと思わせる、いぶしこぶしの幹の大きな楠が立っている。—ご苦勞さま—とつい声になりそうだ。 調査員：伊藤





さやの神社のクスノキ

所在地 | 三芳

樹 種 | クスノキ

幹周り | 760cm

調査日 | 2007年9月8日



故事来歴・豆情報

三芳駅前の通りの荃田医院の横に、小さな社があり、そこにきれいに手入れされたクスノキがある。

塞（さい、さや・さえとも言う）の神は、村境で悪鬼（悪者や疫病など）の進入をさえぎってくれる日本古来の神である。

調査員の感想

住宅地の中の小さな社の守り神的な古木。横に這う枝は切られているが、上にすっと伸びた端正な姿は感じがよい。

調査員：伊藤



黒滝神社のウラジロガシ

所在地 | 丹原町田滝

樹 種 | ウラジロガシ

幹周り | 740cm

調査日 | 2007年7月10日



故事来歴・豆情報

高輪山地西部の黒滝山中腹（標高約765m）に本社が祀られている。
黒滝神社社業として、昭和57年に旧丹原町の天然記念物に指定されている。

調査員の感想

平地部の黒滝神社前の院を調査し、田滝地区にある本社ヘドンドン山道を走る。雨の後タイヤがスリップしながらの行軍、入り口らしき所に着く。ここからは徒歩、参道と言うか登山道である。杉・桧、途中からアカガシ・ウラジロガシ・コナラ・不明木等が本社まで11本が確認でき、登りきって開けたところから見る高縄山系の雲海に疲れが吹っ飛んだ。

調査員：高橋



鷺森神社の楠

所在地 | 壬生川

樹種 | クスノキ

幹周り | 690cm

調査日 | 2009年9月2日

故事来歴・豆情報

昔「白鷺」の大群がすみついていたので「鷺の森」と呼び、伊勢神宮の名を略して鷺の森神社と呼ぶようになったとか。このクスノキの樹齢は640余年といわれ、大山祇神社（今治市）、一宮神社（新居浜市）に次ぐものとされている。昭和58年に旧東予市の天然記念物に指定されている。

調査員の感想

鷺森城跡といわれるこの地に、すくっとそびえ立つ楠の姿は、端麗でさえある。往時をしのぶとき、武士たちのかすかな気概さえ感ずる。

調査員：伊藤





大元神社の大杉

所在地 | 黒谷

樹 種 | スギ

幹周り | 680cm

調査日 | 2008年 6 月 16日



故事来歴・豆情報

黒の谷は平家落人の伝説を秘めた静かな集落。このスギは黒谷川と北谷川の合流点にそびえ、樹齢800年と推定される。木の中心部には落雷による焼け跡がある。昭和58年に旧東予市の天然記念物に指定される。河之内の本谷温泉付近にも「大元神社」があるので間違えないよう注意。

調査員の感想

西条市に61年住んでいるが初めて訪問する黒谷地区。谷間に棚田が深く列なり落人の里を感じさせられる。養蚕が盛んであったのではないかな。集落の奥に大元神社あり、天を貫く大杉は今までに見た一番の大杉である。後ほど判ったが西条一であった。日本一の杉は山形県戸沢村の18メートル54センチで有名な縄文杉を上回る。黒谷の杉も日本一になるまで地域の皆さんに見守って頂きたい。

調査員：高橋



ようちがくぼ 夜討ヶ窪の山檜

所在地 | 河之内

樹 種 | アラカシ

幹周り | 670cm (空洞含む)

調査日 | 2007年9月27日



故事来歴・豆情報

夜討ヶ窪には、この山檜にまつわる伝説がたくさん残っており、この地に住んでいた十亀氏の祖先が、金品を取りに来た曲者達の首をこの山檜の根元に埋めたという話もある。

調査員の感想

民家の横を抜け林の中に入ると、林縁にある。根元は大きく空洞になっており、よくこれで立っているなと感心する。山里にあるため、少しさみしい、恐々とした印象を受けた。

調査員：永井



左：クスノキ（430cm） 右：エノキ



▲エノキの葉

どたのき 土田之木のエノキ

所在地 | 玉之江

樹 種 | エノキ

幹周り | 650cm（空洞含む）

調査日 | 2009年9月2日

故事来歴・豆情報

昭和40年に愛媛県の天然記念物に指定された。主幹は枯れ、西へ伸びた第一枝が現在の幹になっており、樹齢は400年を越えるといわれている。かつては桜三里の峠を越してくる人々の目印とされていたという。

調査員の感想

大きな枝が剪定されており、葉も少なく、根元から空洞となっており、老木というのにぴったりである。西に傾いた老幹を支える支柱が立てられている。樹のかたわらには首藤家先祖の墓がある。

調査員：首藤





▲センダンの葉

実報寺のセンダン

所在地 | 実報寺

樹 種 | センダン

幹周り | 640cm

調査日 | 2007年7月28日

故事来歴・豆情報

センダンは幼壮令期は生育がよい樹種であるが、センダンとしては巨樹である。葉は大型の羽状複葉で、初夏に淡紫色の小さな花を多数つける。市内では、吉岡小学校や丹原小学校でもセンダンの巨樹が見られる。



調査員の感想

周越農道を今治方面へ向かって行くと、大きく枝葉を広げたセンダンの木が右手に見える。6mを超える幹周からは、何百年もの間、この地で人々の往来を見てきたであろうロマンに思わず立ち止まる。

調査員：伊藤



◀ カゴノキの樹皮

柳曾のカゴノキ

所在地 | 丹原町臼坂

樹種 | カゴノキ

幹周り | 630cm

調査日 | 2008年7月17日



故事来歴・豆情報

カゴノキは暖地に生育する常緑高木で、樹皮は灰黒色、まだらにはがれて上の写真のような鹿の子模様になることから、「鹿子の木」ともいわれる。昭和61年に旧丹原町の天然記念物に指定されている。根元に「おんざきさん」と呼ばれる小祠が祀られ、その神木である。

調査員の感想

カゴノキという木を初めてみたが、リョウブやナツツバキのような、樹皮に特徴がある種で、一度見たら忘れないおもしろい木だと感じた。西条市で見られる唯一のカゴノキの巨木は山あいの高く開けたところでのびのびと枝をのばしていた。

調査員：永井



▲2009年9月2日撮影



香園寺のアラカシ

所在地 | 小松町南川

樹 種 | アラカシ

幹周り | 620cm

調査日 | 2007年6月11日



故事来歴・豆情報

61番札所栴檀山香園寺は、用明天皇の病氣平癒を祈願して聖徳太子が開創した古刹で、大同年間に弘法大師が中興した。大師が来錫の折、難産で苦しんでいる婦人を救うため、栴檀の香を焚いて祈願したところ、元気な男の子が生まれたという由緒から「子安大師さん」として信仰を集めている。

調査員の感想

お遍路さんや安産祈願をする夫婦たちで賑わう境内を囲むようにスギ・カシなどの巨樹が見られる。

スギにしては珍しく多数幹が出ているものもある。本堂向かって右手の階段手前にあるこの木も多数萌芽しており、一番太い主幹が210cmほどで、表記の幹周り(620cm)は萌芽した幹をまとめて計測した数値である。

調査員：永井



宮内神社のクスノキ

所在地 | 宮之内

樹種 | クスノキ

幹周り | 620cm

調査日 | 2007年9月27日



故事来歴・豆情報

宮内神社は300本以上ものツバキの群生があり、ツバキの森として平成2年に旧東予市の天然記念物に指定され地元の人に知られている。巨樹という視点で調査にあたると、クスノキをはじめとし、ムクノキなどの巨樹が11本も見つかり、巨木林とすることができた。

調査員の感想

おそらく土地の人たちに大切に社叢が守られてきたのであろう。多くの巨樹を抱いた立派な境内である。

調査員：伊藤



磐根神社のスギ

所在地 | 丹原町鞍瀬

樹種 | スギ

幹周り | 610cm

調査日 | 2007年11月17日



故事来歴・豆情報

磐根神社には、イチヨウやスギの巨樹が6本見られ、巨木林とされる。秋季例祭のときに行われる毛槍投げ奴は昭和58年2月に旧丹原町の無形民俗文化財に指定されている。

調査員の感想

本堂向かって右横にあるスギは、胸高直径もさることながら、ずっと空に向かって大きく伸びている姿が印象的だった。見上げる調査者がまるで小人のようだった。

調査員：永井



▲2008年9月20日撮影



▲ヤマモモの葉（別個体のもの）

宇佐八幡神社のヤマモモ

所在地 | 河原津

樹種 | ヤマモモ

幹周り | 600cm

調査日 | 2007年9月8日



故事来歴・豆情報

ここの社は、豊前国宇佐より勅請と伝えられ「伊予旧紀編（明応年=1498）」などに社名が見える。文化3年（1806）宝殿修復の際、東向きの社殿を南向きに改めている。幹周り600cmあまりのこの大木は、東向きの北寄りに位置し、社殿改築前から植えられていたと思われるが、神社にその記録はない。

調査員の感想

このヤマモモは旧東予市指定保存樹木になっているが、幹周り、樹高、枝振りともに見事で天然記念物級である。社叢を含め神社全体が良く手入れ管理されていて、まだ樹勢旺盛なこの大木を世代を超えて見守っていききたいものである。
調査員：近藤



▲2009年9月2日撮影



林昌寺のクスノキ

所在地 | 氷見

樹種 | クスノキ

幹周り | 600cm

調査日 | 2007年12月13日



故事来歴・豆情報

入り口付近にも540cmのクスノキが見られる。
ここからすぐ北側の林昌寺の墓地内にも6本のクスノキの巨樹があり、うっそうとした雰囲気を出している。

調査員の感想

スーッと空に向かって伸びた樹勢は、寺の庭にあって、何世代もの檀家の人たちを見守ってきたであろうに、ふと話しかけてみたくなる。 調査員：伊藤



大野霊神社のスギ

所在地 | 丹原町明河

樹種 | スギ

幹周り | 600cm

調査日 | 2009年9月15日



故事来歴・豆情報

明河キャンプ場を越えて300mほど進んだ右手にある小さな橋を越えて、山道を進み、鳥居のところから整備された杉林の中を進むと神社が見えてくる。かつては3本の大杉があったそうだが、平成元年の社殿改修の為に2本の杉を伐採したそう。当時周囲8m、高さ57mあった杉の高さ22mあたりの輪切りが近くの明長寺に保管されている。

調査員の感想

整備された杉林の間を抜け、辿りついた神社に見上げるほどの大きな杉があった。数人で囲んでも余りあるほどの杉は山の中でひっそりと時を過ごしてきたのだろう。周囲にも他の巨樹が見られた。

調査員：永井



▲スギの葉（別個体のもの）

山の神さんのスギ

所在地 | 保野

樹 種 | スギ

幹周り | 590cm

調査日 | 2008年5月19日



故事来歴・豆情報

武丈公園沿いを市ノ川公民館方面へ進み、保野神社を過ぎるとその先に山の神が祀られている。

山の神は、山で暮らす人、山で働く人を守ってくれる神として崇められてきた。保野の山の神の周囲にはスギや、ケヤキ、カヤの巨樹が見られる。

調査員の感想

私有林の中に巨木が立つ、なぜかその周囲は光が射さず空気も肌寒いというよりも冷たい。山ノ神、山神が棲む雰囲気漂わせる。巨木は神木の杉が聳え西条市では5本の指に入る、そのほかカヤ・ケヤキなどがあり、巨木予備軍もあり、静に巨木林を形成してもらいたいものである。

調査員：高橋



伊曾乃神社のクスノキ

所在地 | 中野

樹 種 | クスノキ

幹周り | 590cm

調査日 | 2007年 6 月11日



故事来歴・豆情報

太平洋戦争の時、供出のためこの木を切ろうとしたが、きこりがある程度切ったところでこれ以上は切れないと言って断られたとのこと。今もその時の鋸の跡が残る不思議な神木。

伊曾乃神社の境内には3本のクスノキの巨樹があり、大きいものから590cm、590cm、430cm。

調査員の感想

歴史ある神社の神木として崇められているだけあり、一つの森のように見える樹姿も美しく、木の勢いも感じられる。

調査員：伊藤



▲ムクノキの葉



▲2009年9月12日撮影

オタチキさんのむく

所在地 | 中野

樹種 | ムクノキ

幹周り | 570cm

調査日 | 2007年6月11日

故事来歴・豆情報

大太刀君神社、地元では「オタチキさん」と呼ばれている。
高峠城の支城であった氷見の高尾城主石川源太夫が天文20年（1551）にこの地で討たれ、高峠城城主石川伊予守がそれを保国寺で吊った後、このムクノキの下に土葬したとされている。

調査員の感想

木挽原の水田の中にポツンと一本のムクの大木があり、「おやっ」と思わせる。
道がないため、田の間のあぜ道を探してたどり着くことができる。

調査員：伊藤



所在地図



綾延神社のイチヨウ

所在地 | 丹原町田野上方

樹種 | イチヨウ

幹周り | 560cm

調査日 | 2007年6月23日



故事来歴・豆情報

綾延神社は、往古は墓辺社と称した。延久5年（1073）源頼義が豊前の宇佐から八幡宮を勧請して合祀し、八幡宮と称したが、明治12年9月綾延神社と改めた。獅子舞・奴行列が伝承されている。

調査員の感想

本堂の右側に高く伸びたイチヨウにはしめ縄がまかれており、石垣もイチヨウをよけてつくられている。

秋には美しい黄金色の紅葉を見せてくれることだろう。

調査員：永井



◀2009年9月2日撮影



▲黄葉したケヤキの葉（別個体のもの）

下谷のケヤキ

所在地 | 西之川

樹 種 | ケヤキ

幹周り | 550cm

調査日 | 2006年7月15日

故事来歴・豆情報

ケヤキは街路樹などにもよく使われるが、山野にも自生し、木目が美しいため材としても用途が高く、記録にはあったが伐られて売られたというものもあった。箒をひっくりかえしたような樹形で、葉は黄金色に紅葉する。

調査員の感想

石鎚山への入り口、石鎚ロープウェイの下谷駅のところにある京屋旅館のそばのケヤキは、秋には美しい紅葉で楽しませてくれた。

調査員：高橋





磐根神社のイチョウ

所在地 | 丹原町鞍瀬

樹種 | イチョウ

幹周り | 550cm

調査日 | 2007年11月17日



故事来歴・豆情報

樹齢400年以上と推定されている。天文12年（1543年）佐伯小太夫が芸州毛利藩よりこの地に帰り、牛頭天王宮の神職になった時に植えられたとも伝えられ、その後境内にある乳薬師にお願いしてこのイチョウの葉を煎じて飲むと乳の出の悪い人は乳がよく出るようになるという伝説もある。昭和61年旧丹原町の天然記念物に指定された。

調査員の感想

秋の日差しに黄色く紅葉した葉が黄金のように輝いており、息をのむ美しさだった。太陽に向かって枝を伸ばし、しめ縄をしめ、どっしりとたたずむ姿は力士のようで、実に堂々とした姿だった。

調査員：永井



保内八幡神社のクスノキ

所在地 | 円海寺

樹種 | クスノキ

幹周り | 550cm

調査日 | 2008年11月21日



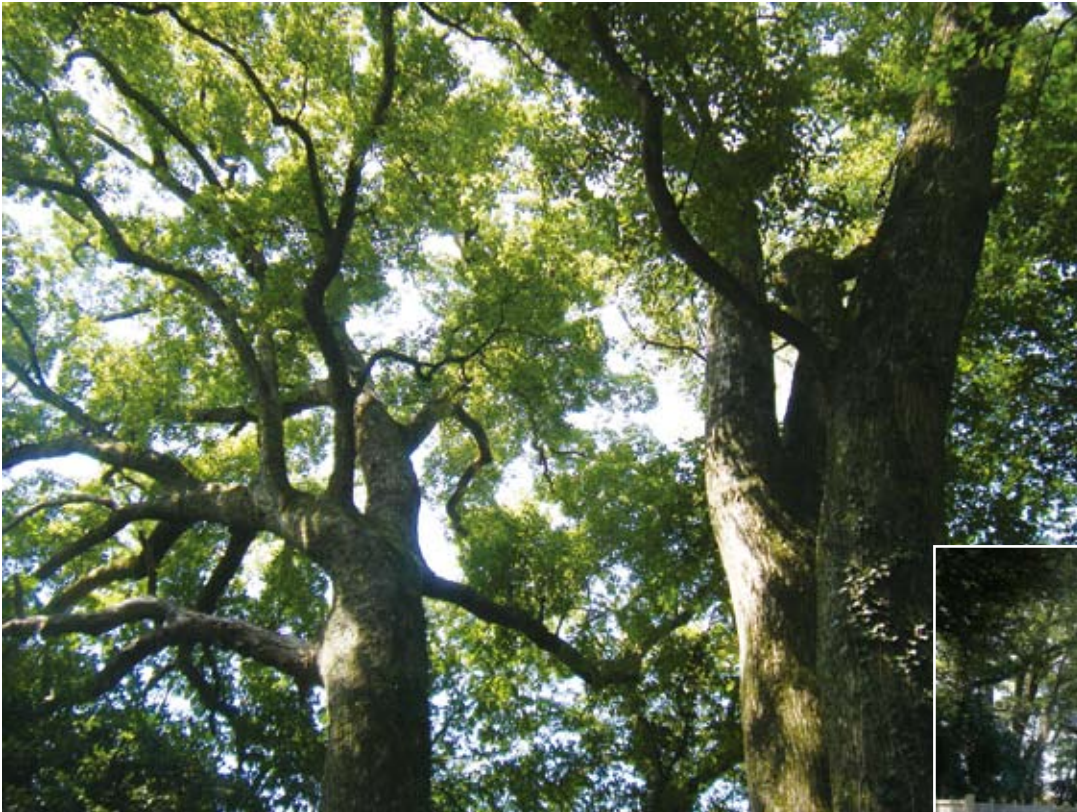
故事来歴・豆情報

400年ほど前に兵火にあい、社祠以外消失した。社叢にはクスノキが多く、この後植えられたものではないかと考えられる。5本のクスノキの巨樹がある巨木林である。

調査員の感想

このクスノキのある保内神社は、生まれて以来馴染みのある神社です。初詣、夏越祭、秋祭、七五三などがあり、地元円海寺の人々がよくお参りに行く神社です。クスノキは私が生まれる前からありました。この辺りの人々に大事にされているのでしょう。

調査員：首藤



一之宮神社のクスノキ

所在地 | 小松町新屋敷

樹種 | クスノキ

幹周り | 530cm

調査日 | 2008年6月16日



故事来歴・豆情報

1636年小松藩一万石の誕生と共に、藩主一柳公により一之宮神社・高鴨神社・三島神社が建立された。一之宮神社の社には当時既にこの楠が茂っており、樹齢は500年～600年といわれている。この近辺ではもっとも高い木で、この木を目指して、一之宮神社に詣でる人もある。先代宮司鴨重貞時代には樟脳材料として買取依頼があったが、「販売まかりならぬ」と一喝。現在に至る。神木として注連縄を年四回かけかえ、大切に管理されている。

調査員の感想

静かな境内に大楠が凜と聳えている。この巨樹を巡って、宮司さんのお話は、一柳家の小松藩成立の経緯から始まり尽きることがない。社殿前の芭蕉の句碑「しほらしき名や こまつふく はぎすすき」は、芭蕉150年忌に、小松の俳人長谷部映門が建立。小松の歴史と文化に思いを馳せながら、心とませるひと時であった。

調査員：山本(ち)



▲2008年9月20日撮影



▲イチョウの葉

大喜多のいちょう

所在地 | 氷見

樹種 | イチョウ

幹周り | 520cm

調査日 | 2007年12月13日



故事来歴・豆情報

氷見の高橋邸は江戸時代、氷見組19か村を取り仕切る大庄屋だった。このイチョウはその当時から成長し続け、今なお衰えを見せない。屋敷内には、ツガの巨樹も見られる。

調査員の感想

秋に黄金色の葉をつけて、家々の屋根の上に抜き出て立つ姿はみごとです。

調査員：佐伯



諏訪神社のスギ

所在地 | 小松町石鎚

樹種 | スギ

幹周り | 520cm

調査日 | 2008年4月20日

故事来歴・豆情報

この諏訪神社では、獅子舞が奉納されている。諏訪神社は、このスギだけでなく、ツガやトチノキ、カシ類などの巨樹が全部で7本も見られる巨木林である。

調査員の感想

普段はあまり人が来るとは思えない、川の流れる音が聞こえる静かな山の中でたくさんの巨樹に囲まれて心落ち着く場所だった。

調査員：永井





周敷神社のクスノキ

所在地 | 周布

樹種 | クスノキ

幹周り | 510cm

調査日 | 2008年11月21日



故事来歴・豆情報

「すふ神社」と読む。
周布小学校の校庭を見ながら長い参道を歩くと、こんもりとした社叢が見えてくる。

調査員の感想

高速道路の横、東予地方局西条第2庁舎の少し南にこんもりとした森、地元の人が親しみを込めて呼ぶ「周のお宮」。時代を感じさせる参道、鳥居をくぐると目の前に真っ白な本殿、屋根に立派な鯨が聳える。庭は清掃が行き届き、地域人々の気持ちが伝わってくる、神社内には8本もの巨木が認められた。調査員：高橋



▲2009年9月2日撮影

志川のクスノキ

所在地 | 丹原町志川

樹種 | クスノキ

幹周り | 500cm

調査日 | 2007年7月10日



故事来歴・豆情報

クスノキ伝説「田中楠工門さん」という話があり、昔は貧乏な人の願いにより、お金やお椀を貸してくれていたが、不実の人があり、約束を守らなかったため、今は何も貸してくれなくなったそう。各地に残る椀貸し伝説の一つである。

調査員の感想

国道11号線沿いの田の中に残るクスノキの大木。田の中にぽっかりと立っており、葉のついていない枝もあるものの、元気な姿である。幹はツタでぎっしり覆われており、根元には小さな祠があり、ちょっとした雰囲気を感じ出している。野良仕事の休憩にちょうどよい木陰をつくってくれているのではないだろうか。

調査員：永井



西田のむく

所在地 | 西田

樹種 | ムクノキ

幹周り | 490cm

調査日 | 2006年11月13日

故事来歴・豆情報

樹齢約400年といわれており、地域のシンボリックな存在。
旧西条市の市制50周年記念事業で平成3年に「西条の名水・名木50選」に選定された。

調査員の感想

冬は葉を落としますが、夏は枝葉が茂り、石鎚神社への道の家並みの中でひととき存在感を示しています。

調査員：佐伯





笹ヶ峰のブナ

所在地 | 笹ヶ峰

樹 種 | ブナ

幹周り | 460cm

調査日 | 2008年4月27日

故事来歴・豆情報

笹ヶ峰登山道の「宿（地名）」より西山越え方面に歩き、丸山山荘まで15分くらいの登山道の横にある。



調査員の感想

小学校登山から青春時代のスキーと思い出多い山であるがブナが、自然、水の源と意識し始めたのはこの10年である。今回は炭の産業古道を大永山から縦走し丸山山荘にもう一步の登山道脇にある一本を西条市の水源、笹ヶ峰から紹介する。苔生す大樹、大切にしたい。

調査員：高橋



▲ホルトノキの葉（別個体のもの）

綾延神社のホルトノキ

所在地 | 丹原町田野上方

樹 種 | ホルトノキ

幹周り | 410cm

調査日 | 2007年6月23日



故事来歴・豆情報

ホルトノキはホルトノキ科ホルトノキ属の常緑高木で、古くなった葉が赤く色づいて落ちるため、緑色の木の中に赤い葉がまざっていることで見分けやすい。

調査員の感想

公園など街中でも普通に見かける種類だが、巨樹として300cmを越えているものはここだけで、市内で最も大きなホルトノキである。
大きなイチョウ（560cm）に負けないよう高く背を伸ばした樹勢いは旺盛である。
調査員：永井



藤之石のミズメザクラ

所在地 | 藤之石

樹種 | ミズメザクラ

幹周り | 400cm

調査日 | 2007年4月8日

故事来歴・豆情報

国道194号から旧寒風山トンネルへ抜ける市道加茂24号線の道路から分け入る目印となるものは特にないが（上の写真のカーブミラーから上がる）、木々の間を抜けていくにも途中までは獣道のように不安になる。木の近くになると、石階段が出てくる。

調査員の感想

川来須から旧国道194号線に入り、炭の産業古道の入り口近くに聳えるミズメザクラは杉、桧の植林の中に、緑泥片岩を抱き、大きな根ををはり、異様な厳しさを見せる。周辺を少し間伐し、桜の花弁や全景を誇れる場を与えてあげたいものである。

調査員：高橋





▲マツの葉（別個体のもの）

三本松のマツ

所在地 | 明屋敷

樹 種 | マツ

幹周り | 330cm

調査日 | 2008年10月22日

故事来歴・豆情報

昔ここに三本の松があったことから三本松という地名が付けられた。
今は松の隣に、同じくらいの大きさのエノキが並んでいる。



調査員の感想

生まれた時から遊び育った三本松、陣屋周辺には多くの松が残っていたが、もう数本になってしまった。威風堂々時代を眺めてきた黒松、傷みも少なくまだまだ百年以上は西条を見守って下さい。

調査員：高橋



木挽原のかえで

所在地 | 中野

樹種 | カエデ

幹周り | 330cm

調査日 | 2007年6月11日

故事来歴・豆情報

カエデの巨樹は珍しく、貴重である。



調査員の感想

菅さんのお宅で何代にもわたって守り続けられているカエデ。家族の歴史の節目ごとに貴重なエピソードが刻まれていることでしょう。枝葉は軽やかに空に向かって風にゆれているが、根っこから1.5mくらいまでは、多くの苦労を感じさせる複雑な樹形である。

調査員：伊藤



▲2009年3月31日撮影

旧大保木小学校のそめいよしの

所在地 | 大保木

樹種 | ソメイヨシノ

幹周り | 330cm

調査日 | 2007年12月13日



故事来歴・豆情報

大保木小学校は明治10年に開校、昭和31年に西条市立大保木小学校となる。昭和60年人口の減少により廃校。

このサクラは地上1.3mで3つに枝分かれし、四方に枝を張る。

樹齢は明らかではないが、学校の歴史とともに育ち今も春には花を咲かせ卒業生達を迎えている。昭和45年旧西条市の天然記念物に指定。

調査員の感想

校舎の一部は老朽化により取り壊されてしまいましたが、桜は今年も多くの花を咲かせました。

大保木地区では多くの人が故郷を離れました。花の頃に訪れるとかつての賑やかさが伝わってくるようでした。

調査員：山本貴



▲カキノキの葉

市倉のかきのき

所在地 | 中野丙

樹 種 | ヤマガキ

幹周り | 300cm

調査日 | 2006年 1 月 5 日

故事来歴・豆情報

市倉のかきのきとして親しまれおり、樹齢は300年以上と推定され、カキノキで300cmになる巨樹は珍しい。昭和39年に旧西条市の天然記念物に指定された。山野に自生するカキをヤマガキといい、本州、四国、九州の丘陵帯に分布する。果実は栽培種に比べると小さく、未熟の果実は柿渋をつくるのに利用する。

調査員の感想

里山の移り変わりを見てきたカキノキ。既に老いの年齢に達しているのに、いまでも姿勢美しく、樹勢も旺盛で、多くの実をつける。その生命力から元気を頂く。
調査員：前



4 西条の巨木林

巨樹が数本の群生や、広範囲に広がりを持って生えている場合には巨木林と呼びます。

西条市の巨樹調査では、巨樹が5本以上ある場所を巨木林と呼ぶことにしており、14ヶ所の巨木林が見られます。

巨 木 林	巨 樹 の 数	巨 樹 の 種 類
石岡神社（氷見）	14 本	クスノキ（14）、ムクノキ（3）
黒滝神社（丹原町田滝）	13 本	ヒノキ（5）、ウラジロガシ（3）、アカガシ（1）、コナラ（1）、スギ（1）、ツクバネガシ（1）、樹種不明（1）
宮内神社（宮之内）	11 本	クスノキ（8）、ムクノキ（2）、カシ類（1）
周敷神社（周布）	8 本	クスノキ（8）
西山興隆寺（丹原町古田）	7 本	スギ（6）、ムクノキ（1）
諏訪神社（小松町石鎚）	7 本	スギ（2）、ツガ？（2）、ウラジロガシ？（2）、トチノキ（1）
林昌寺墓地（氷見）	6 本	クスノキ（6）
大宮神社（西之川）	6 本	ケヤキ（2）、ツガ（1）、モミ（1）、スギ（1）、ウラジロガシ（1）
磐根神社（丹原町鞍瀬）	6 本	スギ（4）、イチョウ（1）、マキ（1）
正徳寺（玉之江）	5 本	クスノキ（5）
保内神社（円海寺）	5 本	クスノキ（5）
三島神社（桑村）	5 本	クスノキ（5）
五社大明神（丹原町千原）	5 本	ムクノキ（2）、イチョウ（1）、ハナゴ（1）、樹種不明（1）
香園寺（小松町南川）	5 本	アラカシ（3）、スギ（1）、クスノキ（1）

資料（１） 西条の巨樹一覧

○ 場所別

番号	地区（場所詳細）	種名	測定値 (cm)	指定
1	飯岡（王至森寺）	キンモクセイ	294	国
2	飯岡（秋都庵）	イチヨウ	338	
3	下島山（飯積神社）	クスノキ	332	
4	下島山（飯積神社）	クスノキ	336	
5	下島山（飯積神社）	クスノキ	318	
6	下島山（飯積神社）	イチイガシ	298	
7	下島山	エノキ	487	
8	下島山	クスノキ	426	
9	下島山	クスノキ	397	
10	船屋	ムクノキ	426	
11	玉津（渦井川左岸）	エノキ	323	
12	玉津（玉津橋北）	ムクノキ	401	
13	朔日市	エノキ	458	
14	朔日市	クスノキ	327	
15	朔日市（妙昌寺）	イチヨウ	335	
16	朔日市（隆昌禅寺）	クスノキ	338	
17	朔日市（隆昌禅寺）	クスノキ	390	
18	明屋敷（三本松）	マツ	332	
19	明屋敷（三本松）	エノキ	320	
20	明屋敷（大塚神社）	クスノキ	319	
21	喜多川 下喜多川（荒神社）	イチヨウ	380	
22	喜多川 下喜多川（荒神社）	ムクノキ	314	
23	神拝（榎神社）	エノキ	300	
24	大町	クスノキ	314	
25	大町（西条神社）	クスノキ	316	
26	大町（西条神社）	クスノキ	350	
27	福武（西条農業高校内）	ヒマラヤスギ	300	
28	福武（西条農業高校前）	イチヨウ	390	
29	保野（保野神社）	スギ	387	
30	保野（山の神さん）	スギ	593	
31	保野（山の神さん）	ケヤキ	397	
32	保野（山の神さん）	スギ	432	
33	保野（山の神さん）	カヤ	317	
34	中野 市倉	カキノキ	300	市
35	中野 日明	イチヨウ	340	
36	中野 日明	クスノキ	375	
37	中野 日明	クスノキ	397	
38	中野 日明	ムクノキ	357	
39	中野（伊曾乃神社）	クスノキ	430	
40	中野（伊曾乃神社）	クスノキ	585	
41	中野（伊曾乃神社）	クスノキ	590	
42	中野 木挽原	ムクノキ	565	
43	中野 木挽原	カエデ	328	
44	洲之内（杉尾神社）	スギ	300	
45	洲之内（橘神宮）	クスノキ	447	

46	西田（石鎚神社）	クスノキ	330	
47	西田（石鎚神社）	ヒノキ	388	市
48	西田（石鎚神社）	ムクノキ	305	
49	西田（石鎚神社）	クスノキ	353	
50	西田（西田集会所前）	ムクノキ	488	
51	西泉（橘小学校）	クスノキ	375	
52	坂元（天満神社）	クスノキ	990	県
53	氷見 古町	イチヨウ	520	市
54	氷見 古町	ツガ?	321	
55	氷見 西町（林昌寺）	クスノキ	604	
56	氷見 西町（林昌寺）	クスノキ	543	
57	氷見 西町（林昌寺墓地）	クスノキ	409	
58	氷見 西町（林昌寺墓地）	クスノキ	393	
59	氷見 西町（林昌寺墓地）	クスノキ	375	
60	氷見 西町（林昌寺墓地）	クスノキ	340	
61	氷見 西町（林昌寺墓地）	クスノキ	331	
62	氷見 西町（林昌寺墓地）	クスノキ	328	
63	氷見（高尾神社）	イチヨウ	340	
64	氷見（高尾神社）	クスノキ	392	
65	氷見（石岡神社）	クスノキ	668	市（社叢）
66	氷見（石岡神社）	クスノキ	580	市（社叢）
67	氷見（石岡神社）	クスノキ	525	市（社叢）
68	氷見（石岡神社）	クスノキ	482	市（社叢）
69	氷見（石岡神社）	クスノキ	471	市（社叢）
70	氷見（石岡神社）	クスノキ	464	市（社叢）
71	氷見（石岡神社）	クスノキ	462	市（社叢）
72	氷見（石岡神社）	クスノキ	447	市（社叢）
73	氷見（石岡神社）	クスノキ	408	市（社叢）
74	氷見（石岡神社）	クスノキ	356	市（社叢）
75	氷見（石岡神社）	クスノキ	348	市（社叢）
76	氷見（石岡神社）	ムクノキ	320	市（社叢）
77	氷見（石岡神社）	ムクノキ	318	市（社叢）
78	氷見（石岡神社）	ムクノキ	310	市（社叢）
79	禎瑞（嘉母神社）	ムクノキ	354	
80	禎瑞（嘉母神社）	クスノキ	310	
81	藤之石	ミズメザクラ	404	
82	藤之石 本郷（金比羅神社）	ヒノキ	325	
83	藤之石 本郷（藤咲神社）	イチヨウ	305	
84	千町（千町集会所）	クスノキ	測定不可	
85	千町（千町集会所）	ムクノキ	379	
86	千町（近江神社）	オオシマザクラ	276	
87	黒瀬（坂中寺）	スギ	370	
88	黒瀬（坂中寺）	スギ	500	
89	黒瀬（坂中寺）	スギ	347	
90	黒瀬 上ノ原	ウスギモクセイ	245	市
91	大保木（旧大保木小学校）	ソメイヨシノ	328	市
92	大保木（極楽寺奥之院）	イチヨウ	469	市
93	大保木 今宮	スギ	460	
94	大保木 中土居（東宮神社）	ムクノキ	335	
95	大保木 中土居（東宮神社）	ムクノキ	416	
96	中奥（中奥山）	ツバキ	206	

97	中奥（中奥山）	イチョウ	380	
98	中奥 大久保（治兵堂）	イチョウ	360	
99	西之川 下谷（京屋）	ケヤキ	545	
100	西之川 （大宮神社）	ケヤキ	370	
101	西之川 （大宮神社）	ケヤキ	470	
102	西之川 （大宮神社）	ツガ	395	
103	西之川 （大宮神社）	モミ	353	
104	西之川 （大宮神社）	スギ	360	
105	西之川 （大宮神社）	ウラジロガシ	362	
106	東之川	ウラジロガシ	310	
107	東之川	アカガシ	340	
108	東之川（高智八幡神社）	ツガ	370	
109	東之川（高智八幡神社）	ツガ	355	
110	東之川（高智八幡神社）	ツガ	365	
111	東之川（高智八幡神社）	ツクバネガシ	310	
112	笹ヶ峰	ブナ	455	
113	周布（周敷神社）	クスノキ	507	
114	周布（周敷神社）	クスノキ	457	
115	周布（周敷神社）	クスノキ	401	
116	周布（周敷神社）	クスノキ	390	
117	周布（周敷神社）	クスノキ	361	
118	周布（周敷神社）	クスノキ	354	
119	周布（周敷神社）	クスノキ	346	
120	周布（周敷神社）	クスノキ	313	
121	周布（寂光寺）	イチョウ	304	
122	周布（豊栄神社）	エノキ	364	
123	吉田（徳威神社）	クスノキ	337	
124	吉田（徳威神社）	ムクノキ	312	
125	石田（闇岡神社）	クスノキ	390	
126	玉之江	エノキ	648	県
127	玉之江	クスノキ	430	
128	玉之江	クスノキ	336	
129	玉之江（正徳寺）	クスノキ	464	
130	玉之江（正徳寺）	クスノキ	389	
131	玉之江（正徳寺）	クスノキ	380	
132	玉之江（正徳寺）	クスノキ	355	
133	玉之江（正徳寺）	クスノキ	304	
134	玉之江（東宮神社）	エノキ	350	
135	今在家（三保神社）	マツ	300	
136	北条（鶴岡八幡宮）	エノキ	382	
137	北条（本松鎮守祠）	クスノキ	335	
138	壬生川（鷺森神社）	クスノキ	690	市
139	壬生川（鷺森神社）	クスノキ	436	
140	壬生川（鷺森神社）	クスノキ	483	
141	壬生川	クスノキ	600	
142	壬生川（森岡神社）	クスノキ	788	
143	壬生川（森岡神社）	クスノキ	416	
144	壬生川	クスノキ	343	
145	喜多台（藤森神社）	クスノキ	300	
146	円海寺（保内神社）	クスノキ	548	
147	円海寺（保内神社）	クスノキ	536	

148	円海寺（保内神社）	クスノキ	411	
149	円海寺（保内神社）	クスノキ	380	
150	円海寺（保内神社）	クスノキ	309	
151	高田（大慈庵）	クスノキ	384	
152	桑村（三島神社）	クスノキ	483	
153	桑村（三島神社）	クスノキ	347	
154	桑村（三島神社）	クスノキ	329	
155	桑村（三島神社）	クスノキ	331	
156	桑村（三島神社）	クスノキ	307	
157	国安（周敷神社）	クスノキ	464	
158	国安（周敷神社）	クスノキ	327	
159	広岡（吉岡小学校）	センダン	306	
160	広岡（吉岡小学校）	センダン	305	
161	上市（甲賀神社）	スダジイ	309	
162	石延（布都神社）	モチノキ	300	
163	三芳（さやの神社）	クスノキ	760	
164	三芳（弘福寺）	クスノキ	489	
165	楠（貴船神社）	クスノキ	339	
166	楠（楠木神社）	クスノキ	414	
167	楠（道場寺）	クスノキ	364	
168	河原津（宇佐八幡神社）	ヤマモモ	605	
169	実報寺（周越農道沿い）	センダン	636	
170	実報寺（皇子社）	シラカシ	301	
171	福成寺（芥川安氏宅）	エノキ	371	
172	宮之内（宮内神社）	クスノキ	353	市（社叢）
173	宮之内（宮内神社）	クスノキ	370	市（社叢）
174	宮之内（宮内神社）	クスノキ	432	市（社叢）
175	宮之内（宮内神社）	クスノキ	445	市（社叢）
176	宮之内（宮内神社）	クスノキ	455	市（社叢）
177	宮之内（宮内神社）	クスノキ	488	市（社叢）
178	宮之内（宮内神社）	クスノキ	620	市（社叢）
179	宮之内（宮内神社）	ムクノキ	325	市（社叢）
180	宮之内（宮内神社）	ムクノキ	375	市（社叢）
181	宮之内（宮内神社）	樹種不明	347	市（社叢）
182	宮之内（宮内神社）	ムクノキ	312	市（社叢）
183	宮之内（宮内神社前広場）	クスノキ	342	
184	大野（ロックウェル）	エノキ	340	
185	旦之上	ムクノキ	319	
186	河之内（大元神社の下）	ケヤキ	355	
187	河之内	アラカシ	670	市
188	黒谷（大元神社）	スギ	682	市
189	黒谷（大元神社）	ヒノキ	319	市
190	池田（丹原小学校）	センダン	345	
191	古田（西山興隆寺）	スギ	358	
192	古田（西山興隆寺）	ムクノキ	463	
193	古田（西山興隆寺）	スギ	390	
194	古田（西山興隆寺）	スギ	372	
195	古田（西山興隆寺）	スギ	360	
196	古田（西山興隆寺）	スギ	304	
197	古田（西山興隆寺）	スギ	301	
198	徳能（専念寺）	イチヨウ	448	市

199	徳能（湯座八幡宮）	クスノキ	392	
200	高松（思兼神社）	エノキ	317	
201	北田野（国広館址）	クスノキ	325	
202	北田野 土居	クスノキ	1300	市
203	田野上方（綾延神社）	イチョウ	564	
204	田野上方（綾延神社）	ホルトノキ	406	
205	田野上方（綾延神社）	クスノキ	330	
206	田野上方（綾延神社）	クスノキ	310	
207	長野（巖島神社）	クスノキ	321	
208	長野	クロガネモチ？	456	
209	田滝（黒滝社本社）	アカガシ	300	市（社叢）
210	田滝（黒滝社本社）	ウラジロガシ	332	市（社叢）
211	田滝（黒滝社本社）	ウラジロガシ	397	市（社叢）
212	田滝（黒滝社本社）	ウラジロガシ	738	市（社叢）
213	田滝（黒滝社本社）	コナラ	372	市（社叢）
214	田滝（黒滝社本社）	スギ	368	市（社叢）
215	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	448	市（社叢）
216	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	450	市（社叢）
217	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	460	市（社叢）
218	田滝（黒滝社本社）	ツクバネガシ	560	市（社叢）
219	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	315	市（社叢）
220	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	357	市（社叢）
221	田滝（黒滝社本社）	樹種不明	308	市（社叢）
222	田滝（黒滝社前の院）	クスノキ	322	
223	田滝（黒滝社前の院）	エノキ	347	
224	来見	サクラ（陽春）	255	市
225	志川（田の中）	クスノキ	500	
226	志川（熊野神社）	樹種不明	357	
227	志川（熊野神社）	スダジイ	332	
228	志川（熊野神社）	樹種不明	307	
229	志川（熊野神社）	樹種不明	347	
230	楠窪（楠窪集会所）	クスノキ	377	
231	臼坂（柳曾）	カゴノキ	631	市
232	鞍瀬 高座（磐根神社）	イチョウ	545	市
233	鞍瀬 高座（磐根神社）	スギ	491	
234	鞍瀬 高座（磐根神社）	スギ	551	
235	鞍瀬 高座（磐根神社）	スギ	610	
236	鞍瀬 高座（磐根神社）	スギ	314	
237	鞍瀬 高座（磐根神社）	マキ（合体木）	246・232	
238	鞍瀬（保井野集会所裏）	イチョウ	430	
239	鞍瀬（保井野、観音堂）	ムクノキ	760	
240	鞍瀬（保井野、観音堂）	アカガシ	356	
241	鞍瀬（保井野、観音堂）	アカガシ	470	
242	明河	スダジイ	466	
243	明河 下影（大野霊神社）	ウラジロガシ	314	
244	明河 下影（大野霊神社）	ウラジロガシ	345	
245	明河 下影（大野霊神社）	スギ	597	
246	明河 下影（大野霊神社）	クスノキ	310	
247	千原（お地藏さん）	イチョウ	405	
248	千原（五社大明神）	ムクノキ	432	
249	千原（五社大明神）	ムクノキ	490	

250	千原（五社大明神）	イチョウ	314	
251	千原（五社大明神）	ハナゴ	370	
252	千原（五社大明神）	樹種不明	357	
253	新屋敷（一之宮神社）	クスノキ	500	
254	新屋敷（一之宮神社）	クスノキ	532	
255	新屋敷（一之宮神社）	ムクノキ	368	
256	新屋敷（宝寿寺）	クスノキ	320	
257	新屋敷	カキノキ	206	
258	南川（香園寺）	スギ	349	
259	南川（香園寺）	アラカシ	480	
260	南川（香園寺）	アラカシ	610	
261	南川（香園寺）	クスノキ	320	
262	南川（香園寺）	アラカシ	620	
263	北川（法安寺）	クスノキ	397	
264	北川（法安寺）	イチョウ	339	
265	北川（柳神社）	クスノキ	323	
266	北川（柳神社）	クスノキ	310	
267	石鎚（諏訪神社）	スギ	518	
268	石鎚（諏訪神社）	ツガ？	310	
269	石鎚（諏訪神社）	ツガ？	350	
270	石鎚（諏訪神社）	スギ	332	
271	石鎚（諏訪神社）	ウラジロガシ？	349	
272	石鎚（諏訪神社）	トチノキ	305	
273	石鎚（諏訪神社）	ウラジロガシ？	305	

注意 ※樹種が確かでないものについては「？」をつけている。

※指定の欄の「国：国指定の天然記念物」「県：愛媛県指定の天然記念物」

「市：西条市指定の天然記念物」

○ 種類別

種類別に大きな順に記載した。

クスノキ（112本）

202	北田野 土居	クスノキ	1300	市
52	坂元（天満神社）	クスノキ	990	県
142	壬生川（森岡神社）	クスノキ	788	
163	三芳（さやの神社）	クスノキ	760	
138	壬生川（鷺森神社）	クスノキ	690	市
65	氷見（石岡神社）	クスノキ	668	市（社叢）
178	宮之内（宮内神社）	クスノキ	620	市（社叢）
55	氷見 西町（林昌寺）	クスノキ	604	
141	壬生川	クスノキ	600	
41	中野（伊曾乃神社）	クスノキ	590	

スギ（26 本）

188	黒谷（大元神社）	スギ	682	市
235	鞍瀬 高座（磐根神社）	スギ	610	
245	明河 下影（大野霊神社）	スギ	597	
30	保野（山の神さん）	スギ	593	
234	鞍瀬 高座（磐根神社）	スギ	551	

ムクノキ（23 本）

239	鞍瀬（保井野、観音堂）	ムクノキ	760	
42	中野 木挽原	ムクノキ	565	
249	千原（五社大明神）	ムクノキ	490	
50	西田（西田集会所前）	ムクノキ	488	
192	古田（西山興隆寺）	ムクノキ	463	

イチヨウ（20 本）

203	田野上方（綾延神社）	イチヨウ	564	
232	鞍瀬 高座（磐根神社）	イチヨウ	545	市
53	氷見 古町	イチヨウ	520	市
92	大保木（極楽寺奥之院）	イチヨウ	469	市
198	徳能（専念寺）	イチヨウ	448	市

エノキ（13 本）

126	玉之江	エノキ	648	県
7	下島山	エノキ	487	
13	朔日市	エノキ	458	

ウラジロガシ（9 本）

212	田滝（黒滝社本社）	ウラジロガシ	738	市（社叢）
211	田滝（黒滝社本社）	ウラジロガシ	397	市（社叢）
105	西之川（大宮神社）	ウラジロガシ	362	

ヒノキ（8 本）

217	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	460	市（社叢）
216	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	450	市（社叢）
215	田滝（黒滝社本社）	ヒノキ	448	市（社叢）

ツガ（7 本）

102	西之川（大宮神社）	ツガ	395	
108	東之川（高智八幡神社）	ツガ	370	
110	東之川（高智八幡神社）	ツガ	365	

資料（２）調査の様子

巨樹の調査は文字どおり山あり谷あり。

素敵な景色との出会いもあれば、蚊との格闘もあり、たくさんの巨樹に出会いました。



山を登りきったところで絶景が！



森の中で出会った感動の巨樹



台風で折れてしまった巨樹



立派な年輪が…



簡単に測れるものばかりではなかった



産業文化フェスティバルで
巨樹のオブジェを展示



巨樹と遊ぶこどもたち。この光景がいつまでも見られますように…。

巨樹調査に携わった環境サポーター

会長 伊藤 英昭

伊藤 富一

真木 捷太郎

長井 英男

木村 伸樹

首藤 一志

前 弘之

近藤 浩幸

高橋 啓一

山本 貴仁

佐伯 やよい

寺川 一男

山本 ちさと (五十音順)

事務局 西条市生活環境部環境衛生課

☎ 0897-56-5151 (代) 永井 礼子

資料（3）参考文献

参考文献

- 西条市（1991）『西条市史』
東予市（1987）『東予市史』
丹原町（1991）『丹原町史』
小松町（1992）『小松町史』
西条市教育委員会（2002）『西条の文化財』
東予市教育委員会（1997）『東予市の文化財』
丹原町教育委員会（1998）『丹原町の文化財』
小松町・小松町教育委員会（2000）『石鎚山麓の町 いよ小松町文化財』
西条市生活環境部生活環境課（1993）『西条市名水・名木 50 選（改訂版）』
財団法人愛媛の森林基金（1990）『えひめの巨樹・名木』
財団法人愛媛の森林基金（2009）『えひめの身近な巨樹・名木 100 選』
愛媛新聞社（2003）『愛媛の巨樹八十選』

参考資料

- 環境省（1988）『自然環境保全基礎調査（第 4 回巨樹・巨木林調査）』
環境省（1999・2000）『自然環境保全基礎調査（第 6 回巨樹・巨木林調査）』

参考ウェブページ

- 「全国巨樹・巨木林巨樹データベース」
<<http://www.kyoju.jp/data/index.html>> （2009/8/20 アクセス）

西条の巨樹

発 行 西条市環境サポーター
発行年月日 平成21年11月
印 刷 所 (有)プリ・キュウ・プレス

この冊子は愛媛県の森林環境税を活用してつくられました。

